

中山晋平のあたたかな心にふれ、偉大な業績を知る。

当記念館は、大正初期から大衆音楽の普及に大きな足跡を残し、日本ビクター株式会社専属でもありました著名な作曲家、中山晋平の別荘として、昭和10年に建設されました。昭和19年、第二次世界大戦の激しくなったのを契機に、東京都中野区より熱海市に移住し、この町を愛して、昭和27年に亡くなるまで居住していました。

当記念館は、この偉大な作曲家を偲び昭和37年、日本ビクター株式会社のご遺族より譲り受け一般公開していましたが、平成2年熱海市が日本ビクター株式会社より譲り受けて平成3年熱海梅園に移築しました。

この建物は、中山晋平が居住していた当時そのままの姿で遺品とともに保存されています。日本庭園の静かなたたずまいの中に落ち着いた木造建築がとけあい、ここを訪れる人々の心に安らぎを与えてくれます。



一階展示室
友人からの寄せ書き、ハガキ、レコード、文房具などを展示



愛用の品々
茶より薬箱、コーヒーカップ、財布



二階
中山晋平の生涯をビデオでわかりやすくご紹介しています。



愛用したピアノ

作曲目録・年譜

- | | |
|---------------|---|
| 大正3年
(27歳) | カチューシャの唄 |
| ・4年 | ゴンドラの唄 |
| ・6年 | さすらいの唄、今産生まれたら |
| ・7年 | 森の娘、緑の蝶の唄 |
| ・8年 | 酒場の唄、恋の鳥 |
| ・9年 | 春おどり、月の出の唄、太郎の汽車 |
| ・10年 | 船頭小唄、池の真昼に、てるてる坊主、怪猫のうた |
| ・11年 | 砂山、月かげ、天の川 |
| ・12年 | 新入の唄、清城小唄、背くらべ、シャボン玉、別たとき、黄金むも |
| ・13年 | 浜浮の唄、貴い花、あの町この町、木の葉のお船、兎のダンス、てまり |
| ・14年 | 紅蓮の唄、並城寺の蓮花子、雨ふり、出船の唄、雨降りお月 |
| ・15年 | 絆をおさめて、あがり自さがり目、たあんさばうんさ |
| 昭和2年 | 椿、とんぼ |
| ・3年 | 当世銀座節、霧山小唄、望月小唄、湯島小唄、錦西小唄 |
| ・4年 | 東京行進曲、異船小唄、愛して頂戴、不慮の白球、かくれんぼ、まりと燈籠、蛙の模まわり、夜蘭節、十日町小唄 |
| ・5年 | 春色夜叉の歌、情人おき、黒船編、琵琶湖シャンソン、新東京行進曲・熱海節、鶴川小唄、手の鳴る方へ、この太陽、キュービービーちゃん |
| ・6年 | 秋田土崎渡小唄、別府まっちょる節、深川夜曲 |
| ・7年 | 丸の内百韻、肉神三勇士、伊豆の踊子、讃皇の唄、春がきた、一寸法師 |
| ・8年 | 東京音韻、大島おけさ、燃える御神火、雄本能、カナカノ娘、天竜下れば、おらが静岡 |
| ・9年 | 万歳音韻、さくら音韻、山の唄、伊豆長岡あやめ音韻、軽井沢音韻、皇太子さまお生まれになった、丹那音韻、静岡まつり |

中山晋平は、その後も「日本音楽文化協会理事長」、「日本音楽著作権協会理事長」等の要職を歴任し、昭和27年、65歳の生涯を閉じるまでに数えきれないほどの曲を書き続け、多くの人たちに広い支持を受けました。

